

## 須坂市教育委員会 9月定例会 会議録

1 日 時 令和元年9月20日（金）午後2時～3時30分

2 場 所 市役所 305 会議室

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	神戸 要子
教育委員	丸山 浩恵
教育委員	土屋 保男
教育委員	二ノ宮邦彦

4 説明のため出席した職員

教育次長	関 政雄
学校教育課長	滝澤 学
子ども課長	新井 修一
人権同和教育課長	牧 宏
学校給食センター所長	北堀 智
生涯学習スポーツ課長	田中 賢一
中央公民館長	山岸 一延
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	竹前 金三
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅

5 事務局出席職員

庶務係長	中村 健司
庶務係主査	森井 徳一

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について

(2) 議 題

(3) 協 議

(4) 一般行政報告

- ①教育長出席行事の報告について
- ②行事共催等承認の報告について
- ③9月定例市議会一般質問報告について
- ④個人情報開示制度運用状況

(5) その他

- ①教育委員会行事予定について
- ②須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- ③2019年度青少年健全育成研修会について
- ④2019年度企業人権教育研修会について
- ⑤信州須坂ハーフマラソンについて
- ⑥その他

小林教育長が開会を宣した。

1 学校などの状況報告について

教育長が説明を求めた。

後藤主任指導主事と北村指導主事が説明した。

神戸職務代理者から「自転車部活動の大会に行くのは良いのか」との質問があり、「現地集合としていた。電車で行くこともある。」との答弁があった。重ねて「今後も自転車は良しとするのか」との質問があり「学校に投げかけてみたい。課題としていく。」との答弁があった。

教育長から「授業改善によりこの学力が伸びる。先生たちの振り返りと来年度以降の学力向上の力になると思う。授業の質を高めるために研究主任会を大切にしたい。」との意見があった。

丸山委員から「スクールカウンセラーに相談すると親のケアについて話をしてくれるが、もっと子供に関するケアを考えて欲しいと言われた。親のアドバイスもいいが、子にアドバイスを求めるような具体的な例もある。ケースバイケースでいろいろあると感じた。」との感想があり「子へのカウンセリングと親へのカウンセリングの両方ある。」との答弁があった。

2 議 題：無し

### 3 協 議：無し

### 4 一般行政報告

#### (1) 教育長出席行事の報告について

小林教育長が主だった行事について説明した。

- ・ 9月8日と11日に中高生海外研修事業の参加者の面接を実施した。行けない子にも配慮しなければいけない。
- ・ 9月12日に第1回定期テスト問題作成委員会を開いた。これは中学校の定期テストを4校同じ問題にしていこうというもの。中学校の教員にとって、テストを作るというのは非常に勉強になる。
- ・ 9月14日の豊洲小学校運動会では親と一緒に参加する競技が非常に盛り上がった。
- ・ 9月17日の県公立高等学校のあり方等懇談会は、双方の意見を聴く会議だった。

二ノ宮委員：海外研修事業の参加者内訳は？

事務局：中学生の応募は15人。うち男子は4人、女子は11人。

高校生は6人応募があり、全員女子。

#### (2) 行事共催等の報告について

小林教育長が説明を求め、滝澤学校教育課長が説明した。

- ・ 後援事業が7件。共催事業が3件。

#### (3) 9月定例市議会一般質問報告について

小林教育長が説明を求め、関教育次長が説明した。

#### (4) 個人情報保護制度運用状況について

小林教育長が説明を求め、滝澤学校教育課長が説明した。

### 4 その他

#### (1) 教育委員会行事予定について

小林教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

- ・ 次回教育委員会は、10月25日午後2時から305会議室で開催することに決定した。

(2) 主催共催大会等への出席について

小林教育長が説明を求め、滝澤学校教育課長が説明した。

(3) 2019年度青少年健全育成研修会について

小林教育長が説明を求め、新井子ども課長が説明した。

(4) 2019年度企業人権教育研修会について

小林教育長が説明を求め、牧人権同和教育課長が説明した。

(5) 信州須坂ハーフマラソンについて

小林教育長が説明を求め、田中生涯学習推進課長が説明した。

(6) その他

丸山委員よりあいさつがあった。

教育委員として1期4年が終わります。実は教育委員をやっていることを仲の良い友人誰にも話していなくて、2日前にお昼を一緒に食べた際に、須坂市の教育委員をやっているという話をしたら、友人が「須坂市、勇氣あるな」と言っていました。「人材不足か？」とかいろいろなことを言われたんですが、この4年間で何かお役に立つことがあったかなといろいろ考えたら、一つ「告示」がありました。入学式とか卒業式とか、そんな告示をやると褒めていただいたり、「良かったね」と声をかけていただいたり、とっても嬉しかったんですが、そうすると先生方とか地域の方とかに声をかけていただいて、そこからちょっといろいろお話させていただくということが多かったんです。例えば先生が家庭訪問をやっていると、そこでちょっと沈黙があったりして会話が進まなくなっちゃったりすると、新人の先生はそこですごく困るんだよね、何かいい方法あるかな。とか聞かれたりして、会話が止まらない、こんな言葉をかければいいですよ、とか、ちょっとお話させていただいたりとか、そんなこともしました。

最後に、褒めていただいた告示なんですけど、誰でも上手に告示を読めるという方法をお話しして終わりにしたいと思います。私が告示をいただいたときに、まず最初にするのが、イメージとしてその文章に自分の体温をのせるっていうことをしました。いただいた文章をそのまま読んだりすると、無機質なものになってしまうって、なかなか人の心に届いていかないんですけれども、自分の普段話しているような方法で話したり、一文短くしたり、間を開けたりっていう作業をすると、読むっていうことじゃなくて、語るっていう、そんな雰囲気が変わります。一番わかりやすい、自分でも直せる方法というのが、自分で読んだものを録音して聞

く。これだけです。聞いて、ここはちょっとおかしいな、と思ったら直して、っていうことを何回か繰り返すと、必ず皆から、あの人話慣れていると言われる読み方ができます。で、少し慣れてきたらあと気を付けるのが、姿勢と視線で、皆さんのように立場のある方は、体温プラス、自分の体重をかけるっていうイメージで、重みを出す、そうすると「告示」が少し変わってくるかなと思います。

子どもたちには、未来と夢と希望しかありません。この教育委員会というのは須坂市の市役所の中で、一番キラキラした場所だなんて私は思って参加してまいりました。今後皆さん、益々ご活躍されることを祈念しております。

最後になりますが、小林先生はじめ、関次長さん、ここにお集まりの皆さん、本当にありがとうございました。お世話になりました。

特に神戸さんには女性ということで、本当にきめ細やかなアドバイスをいただきました。ありがとうございました。4年間お世話になりました。ありがとうございました。

小林教育長：丸山さんには、我々が普段感じられない視点から、いろんなことを提案していただいたり、教えていただいたり、とっても開かれたものが、たくさんあったなど、それはここにいる皆が感じていると思っています。これからも丸山さんは身近な存在ですので、私たちに何かあったときには、また一緒に仲間として動くこともきっとあると思います。そんなことを期待しながらお送りしたいと思います。丸山さん4年間本当にありがとうございました。

小林教育長が閉会を宣した。